

いわふね

No. **67**

2009.11

発行 栃木県岩舟町議会
編集 岩舟町議会広報委員会

議会だより

ASSEMBLY REPORT



観光農園いわふね梨園

新議会の構成決まる

20年度水道事業決算を認定 5P

教育委員に若林・小松原・林氏再任 7P

議会運営委員会、各常任委員会調査・報告 8P

議会の構成決まる

第六回臨時議会

改選後の臨時議会が十月五日に開かれ、議長・副議長の改選後、常任委員会の構成、広域事務組合議員の選出などが行われ次のように決まりました。



議会議長
広瀬 昌子



議会副議長
渡辺 正治



監査委員
斉藤 録持



議会運営委員会

- 委員長 小林 長
副委員長 石塚 辰次
委員 富田 清
 斉藤 録持
 田中正太郎
 戸谷 勝次
 青木 一男

総務厚生常任委員会



- 委員長 戸谷 勝次
副委員長 栃木 孝
委員 斉藤 録持
 茂呂 健市
 小林 長
 渡辺 正治
 青木 一男

広域事務組合議員

- ◆栃木地区広域行政事務組合議員
広瀬 昌子 栃木 孝
- ◆佐野地区広域消防組合議員
広瀬 昌子 斉藤 録持
小林 長
- ◆佐野地区衛生施設組合議員
渡辺 正治 青木 一男
茂呂 健市
- ◆栃木県南公設地方卸売市場事務組合議員
斉藤 栄吉

主なその他の委員

- ◆国民健康保険運営協議会委員
広瀬 昌子 渡辺 正治
栃木 孝 戸谷 勝次
- ◆介護保険運営協議会委員
広瀬 昌子 栃木 孝
戸谷 勝次
- ◆社会福祉協議会役員
広瀬 昌子 戸谷 勝次
- ◆社会福祉協議会評議員
渡辺 正治 青木 一男
茂呂 健市 栃木 孝
- ◆シルバー人材センター理事
渡辺 仁一
- ◆シルバー人材センター監事
戸谷 勝次

教育産業常任委員会



- 委員長 渡辺 仁一
副委員長 富田 清
委員 広瀬 昌子
 斉藤 栄吉
 田中正太郎
 石塚 辰次

中田堅一議員は
十一月二十五日付で
辞職しました。



次の世代へ 責任の持てる議会に



議長
広瀬昌子

改選後初の臨時議会で第17代議長に選出されました。職責の重大さを痛感しています。もとより力はありませんが精一杯の努力をします。今議会は、定数削減に伴

い、常任委員会も2委員会になり、予算、決算委員会での事業チェックや提言など、一人ひとりの資質が問われ、幅広い知識も必要になるでしょう。議員自ら研鑽し、活発な議会活動が期待されます。

また、今議会に付議された最重要課題は合併の成立です。佐野の枠組を決めた住民投票、自立を目指した町長のリコール成立。佐野合併を公約に掲げた町長の誕生。住民の意志をしっかりと受け止め結果を出していかねければなりません。全体的な立場、地域の立場、たとえ相反した意見でも一つにしていかなければなりません。合併が町にとって希望をもたらすものになるために、心情にかたよることなく議論を重ね、将来に禍根を残さないよう、町民の皆様徹底した説明と正しい情報を開示し、納得のいくものとしていく様努力をして参ります。

更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

町政の公正・公平な運営



町長
茂呂幸司

去る9月27日に行われた町議会議員選挙において当選されました皆様おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。さて、私ごと、この度の町長選挙に於きまして議員

の皆様を始め、多くの町民の皆様温かいご支援とご支持を頂き町長に就任することとなり、その責務の重大さに改めて身の引締まる思いであります。また、皆様から多くのご支援をいただき、町政への苦言とともに新たな町政運営に対する期待など多くの「生の声」を聞かせて頂きました。町民の皆様方が真にこの町を愛し、より良い町にしたいという熱い思いを強く感じ、心強くもあり安堵もしております。是非、この思いを町政に反映させたいと思うところです。

本町では、合併をめぐる混乱から多くの町民の皆様、将来への不安や町政に対しての不信感を抱かせてしまいました。多くの課題を抱えての出発となります。最後になりますが、議員の皆様更なるご活躍とご健勝を祈念いたしました。挨拶とさせていただきます。

第5回定例会

平成21年第5回定例会は、8月25日、1日の会期で開かれました。町長職務代理者提出議案6件を審議し、原案どおり可決しました。

平成20年度水道事業会計を認定しました

平成20年度岩舟町水道事業決算	
収益的収入	441,992千円
収益的支出	405,431千円
資本的収入	121,462千円
資本的支出	317,664千円

平成20年度水道事業の業務状況は、給水人口18,321人、給水戸数6,057戸、普及率98%、有収率78.7%、年間排水量2,545,822m³(2.5%増)1日平均排水量6,975m³(2.8%増)有収水量2,003,315m³(2.4%減)となり、給水収益は料金改正に伴い3億7,533万3千円(8.8%減)となりました。有収率78.7%となりましたが、これは昨年度から始まった石綿セメント管更新工事などにより、工事量が増大したことに伴う新設配水管の洗浄に要した水量が多かったことや、既設老朽管等からの漏水によるものです。漏水調査を実施し、早期発見修繕を行い、有収率向上を

望みます。()は前年度比

事業では、石綿セメント管更新事業、1億1,820万9千円、公共下水道工事に関連した配水管布設替、877万8千円、水道事業独自の配水管等整備に1,030万1千円、消火栓設置で172万2千円が実施されました。

財源は、企業債8,000万円、工事負担金1,299万6千円、一般会計出資金200万円、国庫補助金2,646万6千円が充当されました。

その他の議案

- 平成20年度健全化判断比率及び資金不足比率について(報告第1号)

実質公債費比率	11.4%(25.0%)
将来負担比率	80.3%(350.0%)

 ()は…早期健全化基準
- 岩舟町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

(町長職務代理者提出議案第1号)

出産育児金を35万円→39万円とする
平成21年10月1日～平成23年3月31日まで
- 平成21年度岩舟町一般会計補正予算(第4号)(可決)

(町長職務代理者提出議案第2号)
- 平成21年度岩舟町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)(可決)

(町長職務代理者提出議案第3号)
- 平成21年度岩舟町老人保健特別会計補正予算(第1号)(可決)

(町長職務代理者提出議案第4号)
- 平成21年度岩舟町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)(可決)

(町長職務代理者提出議案第5号)

要請・要望・陳情

2009年原水爆禁止国民平和大行進に際しての要請書

提出者 2009年原爆禁止国民平和大行進栃木県実行委員会
委員長 梶 六男
(全協報告)

地域における産業の振興を望む要望書

提出者 社団法人栃木県建設業協会
会長 渡邊 勇雄 他2名
(全協報告)

反対

富田 清 議員

第2次拡張工事により安定給水が図られたものの、その事業による起債残高が増え、厳しい決算となっています。事務の合理化や高い金利の繰上返済等により黒字決算になり評価をします。水道料金が低いという町民からの批判から料金を引き下げられたものの、県内をみるならば高い自治体に位置しており、県内の平均値の料金にすべきです。今後の経営改善として、現在の施設利用率が54・

9%であり、近隣自治体と共同した配水事業も検討し売上増を図ること、高金利起債の借換えと更なる繰上償還など経費節減など行うべきです。

また、町民への工事負担金や基本料金水量に満たない家庭の料金の見直しを行うなど町民負担の軽減を図るべきです。

以上述べたように、改善すべき点もあり、本決算は認めるわけにはいきません。

討論

平成20年度の水道事業は、給水人口の減少や使用者の節水意識の向上により年間使用水量が減少し、給水収益が8.8%と大幅な減収となる厳しい財政状況となった。経常費用を6.8%削減するなどの努力により、単年度では5年連続の黒字決算となった。給水については、施設の維持管理業務を民間の専門業者に委託し、適切な維持管理に努めるなど、施設や水質に関する事業の認定に賛成いたします。

平成20年度の水道事業は、定めた給水が維持できず、投資においては、第一浄水場における滅菌装置の更新や石綿セメント管更新工事を計画的に実施するなど、事業の継続の観点から評価に値するものです。

しかしながら、企業債残高と繰越欠損金については、いまだに多額となっており、更なる企業努力により、事業運営を期待し、平成20年度岩舟町水道事業会計決

賛成

渡辺 正治 議員

こしが聞きたい

少子化における町の見通しは

統合や義務教育5・4年制の

導入も考え方の一つ

広瀬 昌子 議員

問 少子化は当町においても例外ではなく、小学校の入学式に出席するたび認識せざるを得ない状況です。

今後の児童・生徒数の動向や財政的負担の見通しについて。

又将来的に複式解消の考えはあるのか。

教育長 現在本町には小学生931名、中学生522

名がおります。この子どもたちの人数も今後減少が予想されます。その中で、特に小野寺北小の入学予定児童数が年々減少していくのが気がかりです。今年度すでに4・5年に複式学級が存在しており、次年度には2・3学年も複式となり、以後恒常的に複式学級となります。小規模校では、子

どもたち一人一人を、よく理解し個性を見極めた教育を進めることができる良さがある反面、常に特定な小集団の中で生活し、学習すること、幅広い教育活動や学校行事等の展開が限定されます。子供同士、子どもと教師の評価が固定しがちになってしまいます。

また、学校運営上、学校のダイナミズム、PTAの活動、学校給食の運営、子どもたちの安全危機管理等に影響が出ることが考えられます。学校を運営していく場合、学校の規模には関係なく、施設、人的配置、教材等の整備を進めます。したがって、費用対効果という視点から見ますと小規模校にはお金がかかるということになります。将来複式の解消につきまして

は色々クリアする諸課題があります。小野寺南北小の統合や、小学校5年制、中学校4年制の導入も考え

方の一つとしてあります。



健康福祉・環境まつり

第5回定例会 (8月)

県財政健全化策の影響は 十八事業などに影響が懸念されます

富田 清 議員

問 県は財政悪化を理由に、2012年度までに370億円削減する財政健全化策を公表した。県の財政力は全国的にも上位にあるが、

問 厚労省は介護認定基準基礎データの更新を理由に4月より新制度に移行した。

なっているのか。

健康福祉課長 4月からの認定方法の見直しに伴い、

全国的にも上位にあるが、これまでの歴代県政が国の言いなりで、公共事業を増大させ、公債費を膨れ上がらせたことに問題がある。

こういう中で利用者からは、判定が軽度になりサービスが低下したとの声があり、また施設関係者からも批判がある。このような中、

ご質問のような指摘があったため、国は検証を行い、その結果を踏まえ、10月から再度見直しを行うことになりました。

県は教育や保育・福祉分野における補助削減や廃止を行うとしているが、

再見直しを行うということになった。

このため経過措置として、4月から9月までの間に更新を行った方は、希望により、更新前の要介護度を選択することができま

す。岩舟町の実態はどう

ある。岩舟町の実態はどう

か。

総務課長 本町で廃止・見直しなどにより、

直接影響を受けると思われる事業は、子育て・教育分野、医療・福祉分野、総合交付金分野

その他農業などの分野を合わせて18事業あります。また、

事業以外で影響を受けるものとしては、県庁出先機関の統廃合や使用料・手数料の見直しなどによる影響が懸念されます。

影響が懸念されます。



新聞より

第7回 臨時議会

第7回岩舟町議会臨時議会が、10月15日開かれました。

- (1) 栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について
町長 茂呂 幸司氏を指名推薦 (選挙第1号)
- (2) 岩舟町教育委員会委員の任命について (町長提出議案第1号)
三名の委員が任命されました (同意)
- (3) 岩舟町表彰条例の一部を改正する条例の制定について (可決)
(町長提出議案第2号)

教育委員の任命に同意

三名の委員が任命されました



若林 秀夫氏 (再任)

昭和十二年八月十二日
栃木市本町九番二十四号



小松原利文氏 (再任)

昭和二十四年四月二日
岩舟町大字静五五〇番地二



林 慶仁氏 (再任)

昭和三十七年十月五日
岩舟町大字小野寺二四七番地

閉会中の 継続調査報告

経済建設

産業の活性化 後継者の育成について

岩舟町には、特筆する産業がなく、何に注目をして活性化していくか悩んだが農業面に目を向ける事にした。米の生産調整が続く、遊休農地が増え、高齢化も進んでいる。このような中特産のぶどう・梨・苺・なす・ニラ・切花等の生産が行われ、作物によって後継者の就農もみられます。価格は現在の経済状況から低調に推移しています。活性化できれば、自ら後継者はできるはずですが。

そこで平成21年2月①市民農園・観光農園の整備②農産物等による都市との交流③ブランド品販路開拓等に取り組んでいる、千葉県香取市を視察しました。市民農園・観光農園等に指導員を置き、都市・住民と交流し農業に対する理解を深め、ブランド品の販路開拓をし加工品の開発にも力を入れていました。今後、岩舟町農業の活性化は、観光事業との連携都市住民との交流さらには総ての事業が整った(株)観光農園いわふねとの協働によるサブ拠点の整備等が待たれます。行政の指導は不可欠の要素となっています。

総務

町税の収納率の 向上について

町税は住民に対する行政サービス提供の基本的財源であり、収納率の向上と町民サービスの向上は一体的なもので、税収の確保は極めて重要なため、最優先して取り組むべき課題です。また、所得税から住民税への財源移譲が行われ、自主財源確保の役割が重要性を増しています。

現在大多数の町民が納期内納税に協力していますが、一部の町民が滞納している状況は、町税負担の公平性、公正性から大きな問題です。

千葉県長柄町では、コンビニ二等での収納に加えクレジットカード収納システムを平成19年から導入し、納税手段の拡大によって利便性の向上を図り、収納率の向上に取り組んでいます。

本町における納入方法は、コンビニ収納を実施している軽自動車税を除き、口座引落としとするか、金融機関や役場等にアウト向いて納入する方法に限られています。しかし窓口開設時間が限られており納税の収納サービスが万全ではありません。今後は納税手段の拡大を積極的に図り、町民の利便性を良くして更なる収納率の向上対策を進める必要があります。

議会運営委員会

議会運営について

当委員会では議会運営の円滑、向上を図ることを目的に議会の政策形式、団体意思決定、執行機関監視などの多面的議会機能を十分に発揮すると共に、開かれた議会、町民と協働する議会を標榜し次のことに関し検討を進めるものです。

一般質問では質問席を設け対面式で一問一答方式により実施しており質問時間は答弁を含め60分以内となっています。質問の方式は1回目に総括質疑を行い、2回目以降は一問一答方式で行っています。この結果これまでの質問形式より議論が深まりスムーズな質問・答弁が展開されてきましたが、さらに傍聴者等に議論の内容が理解されやすくなるために1回目の質問から一問一答方式にすることも含め検討が必要かと思われまします。

また住民の方に議会に関心を持ってもらうために、議会の開催、日時等は、町の掲示板及び町ホームページにて周知していますが、より多くの住民の方に関心を持ってもらうための方策をさらに検討していく必要があります。

文教厚生

次世代育成の 振興について

子育てを担う保護者のライフスタイルも変化し、保育所入所児童も年々増加し、それに加え就業形態も様々となり、保育メニューにおいても多様化し乳児保育の他各種保育サービスの充実も重要な課題となっております。そこで本委員会は他町の保育施設を研修することにしました。

平成20年11月に福島県楢葉町が運営する認定こども園「楢葉町立あおぞらこども園」を視察してきました。本園は町内4カ所の保育施設を統合し、少子化に対応した一貫性のある乳幼児教育の場として、それぞれの機能を併せ持った幼保連携型によるこども園の認定を受け、平成20年4月に開園しました。

このことにより子育ての為に各種支援サービスを提供することができるようになりました。幸い本町には子育て支援に理解と関心を寄せる人達が多く、保育所施設への期待は大きいものがあります。今後は新しい保育ニーズに対応ができた時代にあつた考えを導入する必要があると思われまします。

広域事務組合報告

佐野地区広域消防組合

8月6日、第2回定例会が開かれました。
新たに組合議員に選出された議員の議席が指定されました。

選挙第1号議長の選挙について、前議長任期満了に伴うもので、笹原敏夫議員が指名推薦により当選されました。
指定金融機関の契約期間満了となるためひきつづき(株)足利銀行4月1日から3年間指定する。真岡市及び二宮町の配置分合に伴い規約の変更、配置の処分について専決処分事項を承認しました。
佐野市監査委員、山越密雄様を本組合監査委員に選任することに同意。
平成20年度一般会計決算について原案どおり認定しました。歳入済額17億4415万円、支出済

額16億8587万円、差引額は5828万円です。
負担金の額、負担方法、岩舟町の負担金は人口割分9526万円、財政割分6661万円合計1億6187万円です。
平成21年度一般会計補正予算、岩舟町の負担金は1583万6千円です。ともに原案どおり可決しました。



佐野消防東分署

佐野地区衛生施設組合

8月6日第2回定例会が開かれました。
本組合議会議長でありました飯塚昭和議員が任期満了により、同市の笠原敏夫議員が指名推薦により議長に当選しました。

組合長専決処分事項、真岡市及び二宮町の合併により廃置分合伴う規約の一部改正、事務組合から脱退に伴う財産処分について、衛生施設組合指定金融機関を指定することについて(株)足利銀行を指定平成21年4月1日から平成24年3月31日まで承認されました。
平成20年度一般会計歳入歳出決算を認定しました。歳入7億1511万7千円、歳出6億5847万4千円、差引

額は5664万3千円、岩舟町分担金は6309万5千円です。
平成21年度一般会計補正予算(第1号)は歳入歳出それぞれ1123万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額を6億5630万9千円です(可決) 岩舟町の減少額は203万5千円です。



佐野地区衛生施設

栃木県南公設 地方卸売市場事務組合

7月14日第2回臨時会が開かれました。
議長の選挙について、小山市議会選出の岩崎昇議員が指名され議長に当選しました。

議席の指定が議長からされました。
会議録署名議員の指名が議長からされました。
会期の決定について当日一日とすることに決定しました。

副議長には、栃木市議会選出の増山利雄議員が指名され副議長に当選しました。



県南公設市場

広域事務組合報告

栃木地区広域 行政事務組合

7月24日に第2回臨時
会が開かれました。

閉会中の議員辞職許可
報告、6月2日に栃木市
議会選出の小竹好一議員、
松本喜一議員、大森良春
議員の辞職の願い出があ
り許可した旨の報告があ
りました。

栃木市から新たに議員
となられた方々の議席の
指定がされました。

会期当日1日と決定、
一般会計補正(第1号)
について原案どおり可決
しました。歳入歳出予算
にそれぞれ1311万7
千円を追加し、予算総額
を48億6986万8千円
です。

主な内容は、国道293
号線の拡幅工事に伴う、
不動産の売却収入の計上、



とちぎクリーンセンター

地域振興事業補助金の増
額及び、し尿処理費にお
いて、歳出の組替え補正
をするというものです。

議員の派遣について、
平成21年10月29日、30日、
長野県中野市及び群馬県
草津町に組合議会の議員
全員を派遣することに決
定されました。

栃木県町村議会 議員研修会

10月27日に、宇都宮市
「東コミュニケーションセンタ
ー」で開催されました。

東京大学名誉教授、大森
彌氏の「分権時代にふさわ
しい議会・議員のあり方」
と題して、基本広壮をつく
り、広壮で議会運営をし、
口利きの行動はしない、国
と地方で協議する。今後の
議会活動に対する確で有意
義な講演でした。



次に、時事通信社解説委
員長、田崎史郎氏の「鳩山
政権の行方日本の政治は変
わるか」と題して、コンク
リートから人へ、官僚指導
からの変革なるかななどの現
在の流れを話していただき、
参考になる研修でした。



下都賀郡町村議会 議員全体研修会

10月20・21日に、ホテル
ニュー塩原で開催されまし
た。

杏林大学外国語学部教授、
国語学者・金田一秀穂氏の
「世界一受けたい授業・お
もしろ日本語」と題して、
地名には意味があるので大
切にする、正しい日本語、
ことばは道具にすぎない。
仲よくなるため後にごとば
がある、国家は言葉につか
えない。場面で使い分ける
ことば。コミュニケーション



ン能力は政治家は最も高い
人。瞬時に計算する社会的
能力は大阪のおばあちゃん
が高い、空気を読む等々。
言葉にまつわる興味深い内
容で大変参考になる研修会
でした。

後記

9月の議員改選に
より、第6回臨時会
が、10月5日に開か
れ、議長、副議長、
監査委員、各常任委
員会委員、議会運営
委員会委員、各広域組合議
員の選任、その他の委員の
選任が行われ、新たな議員
構成となりました。

私たちが5名が広報を担当
することになりました。
「議会だより」をとおして
日頃の議会活動の様子を住
民の皆さんに広くお伝えし
たいと思います。

◎委員紹介

◇広報委員会

委員長

茂呂 健市

副委員長

斉藤 栄吉

委員

石塚 辰次

田中正太郎

青木 一男